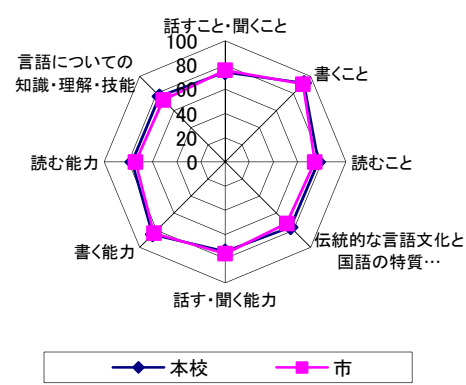


宇都宮市立緑が丘小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	74.1	75.9	72.1
	書くこと	92.3	91.0	79.2
	読むこと	77.0	74.1	71.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.5	72.0	73.0
観点別	話す・聞く能力	74.1	75.9	72.1
	書く能力	84.8	83.3	72.2
	読む能力	77.0	74.1	71.1
	言語についての知識・理解・技能	76.7	72.5	72.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

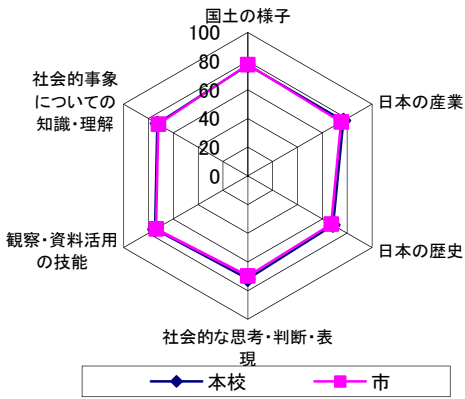
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	・正答率は74.1%で、市平均より2%下回っている。 ・話し合いの内容を聞き、司会者の役割を理解して、記述する問題の正答率は47.6%と低くなっている。	・国語の授業だけでなく話し合いの活動を多く取り入れ、司会者の役割を多くこなすことで、どのような話し方・聞き方が良いのか経験することで身に付けさせていく。
書くこと	・正答率は92.3%で、市平均と同様である。 ・2段落構成で書く問題であったが、段落が多くなっている解答が多く見られた。 ・文字数、どちらの意見に賛成か、意見の理由についての正答率は90%を超えている。	・文章を書くときに、自分の考えや理由、体験談など話が変わる部分で段落が変わることを意識させながら書かせるようにする。 ・日記や感想など、日常の出来事など意図的に書かせる機会を多く設け、書くことになれるようにしていく。
読むこと	・正答率は77.0%で、市平均より3%上回っている。 ・物語の登場人物の心情読み取ることや、説明文の内容を的確に読み取る問題の正答率は市の平均を大きく上回っている。 ・資料とパンフレットから情報を読み取り適切な内容を補って文章を書く問題の正答率も市の平均を大きく上回っている。	・登場人物の心情や様子を読み取るために、気持ちや場面の変化や情景を表す表現に印をつけるなど、具体的な指導をしていく。 ・資料の内容を的確に理解するだけでなく、文章の内容のどの部分の説明になっているか確認しながら読み取れるように指導していく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	・正答率は76.5%で、市平均より4%上回っている。 ・漢字では「寒暖」の読み、「増減」の書き問題の正答率が市の平均を大きく上回っている。 ・俳句を読み、秋の情景の句を選ぶ問題、敬語(謙譲語)の使い方を選ぶ問題の正答率は市の平均を大きく上回っている。 ・三字の熟語の成り立ちの構成を選ぶ問題の正答率は市の平均を大きく下回っている。	・宿題や漢字スキルなど反復練習を行うだけでなく、小テストなど継続的にを行い、習熟の成果を確認しながら定着を図るようにしていく。 ・俳句や短歌、ことわざなど意図的に触れる時間を設け、意味や構成など何度も授業で行うことで定着を図るようにしていく。

宇都宮市立緑が丘小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	77.1	77.6	77.6
	日本の産業	76.9	75.1	67.5
	日本の歴史	68.5	67.2	62.0
観点別	社会的な思考・判断・表現	71.9	69.7	64.7
	観察・資料活用 の技能	74.7	73.8	68.5
	社会的事象についての知識・理解	72.8	72.0	67.7

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

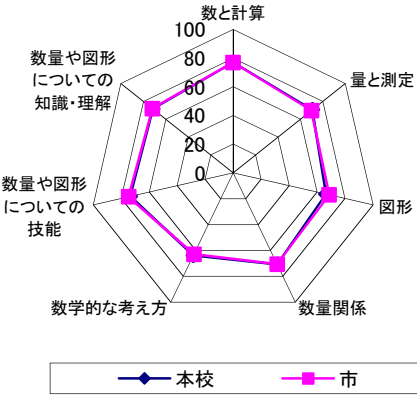
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	・正答率は77.1%で、市平均と同様である。 ・日本の周囲の国の国旗についての正答率は市の平均を大きく下回っている。	・ただ知識を覚えさせるのではなく、地図帳や統計資料と関連させることで定着を図るようにしていく。また実際に地図を書いたり、パズルゲームなどを行い、自分の国の国土について興味関心を高めさせる授業を行ってきたい。
日本の産業	・正答率は76.9%で、市平均と同様である。 ・野菜の産地表示や栽培方法についての知識をもとに、日常場面に即して判断する問題の正答率は市の平均を大きく上回っている。	・映像や写真、様々な統計資料を活用し、資料の読み取り、そこから社会的事象の特色を理解できるように指導していきたい。また、読み取ったことを言葉にする作業を多く取り入れ、社会的思考力・判断力を高めていきたい。
日本の歴史	・正答率は68.5%で、市平均と同様である。 ・元寇についての理解や源平の戦いの時期を判断する問題の正答率は市の平均を大きく上回っている。 ・豊臣秀吉の業績、鎖国中の日本と貿易を行った国についての理解度を問う問題の正答率は市の平均を大きく下回っている。	・年表や人物事典などを活用し、歴史的な事象と人物を結び付けて定着を図るようにしていく。学習範囲が広いので小テストなど復習を多く取り入れることで定着を図るようにしていく。

宇都宮市立緑が丘小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	77.0	77.0	70.4
	量と測定	70.6	69.8	68.5
	図形	66.4	68.6	72.4
	数量関係	70.8	70.6	60.4
観点別	数学的な考え方	63.9	63.0	54.8
	数量や図形についての技能	73.6	74.7	67.3
	数量や図形についての知識・理解	71.7	72.0	74.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
(算数では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

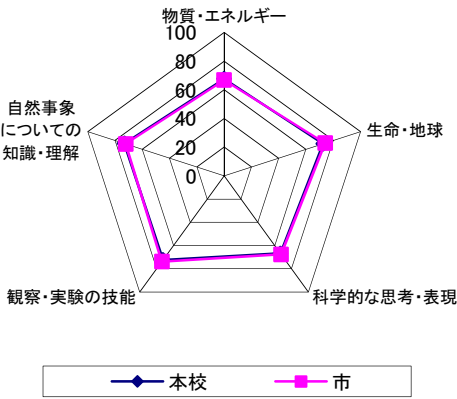
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	- 正答率は77.0%で、市平均と同様である。 - 分数、小数、整数の乗除混合計算の正答率は市の平均より5%上回っている。 - 図を使って、分数の除法の文章問題に合った式を選ぶ問題の正答率は37.5%と低くなっている。	- 授業だけでなく、スキルタイムや家庭学習も活用し、繰り返し行うことで定着を図るようにしていく。 - 文章問題では、絵や線分図を書いて数量関係を視覚的にも分かるようにし、立式できるよう指導していく。
量と測定	- 正答率は70.6%で、市平均とほぼ同様である。 - 展開図から円柱の体積を求める式を選ぶ問題の正答率は市の平均を大きく上回っている。 - 高さが図形の外にある三角形の面積を求める問題の正答率は市の平均より5%上回っている。 - 速さの単位の間接関係を理解し、分速を時速に直す問題の正答率では市の平均を大きく下回っている。	- 図形に種類によって面積を求める式が違うので、ただ暗記をするのではなく、なぜそれぞれの公式になったのか考えさせることで知識の定着を図るようにしていく。 - 速さや単位量の問題では、問題を多く解きだけでなく、友達と一緒に考えるなど授業内容も工夫しながら定着を図るようにしていく。
図形	- 正答率は66.4%で、市平均より2%下回っている。 - 三角柱の展開図を組み立てたときに重なる頂点を見つける問題や、合同な三角形を作図する問題の正答率は市の平均を大きく下回っている。	- 図形の展開図を作り、実際に組み立てるなど作業を通して学習の定着を図るようにしていく。 - 三角形の内角の和を使って五角形などその他の形の角度を求められることを授業で再確認し、プリントなどで多くの問題を解くことで定着を図るようにしていく。
数量関係	- 正答率は70.8%で、市平均とほぼ同様である。 - 反比例についての表を読み取り、表にあてはまる数を求める問題の正答率は市の平均より5%上回っている。 - 帯グラフから割合を読み取り、比較量を求める問題の正答率は市の平均より6%上回っている。 - 文字を使って2つの数量の関係を式に表す問題の正答率は市の平均を大きく下回っている。	- 文字を使った式や比の学習では、授業で復習の時間を設け、全体で確認し定着を図るようにしていく。 - 比は料理などで使われるものなので、身近なものと感じさせ、関心を高めるようにしていく。

宇都宮市立緑が丘小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	67.7	66.8	63.6
	生命・地球	72.6	74.0	75.3
観点別	科学的な思考・表現	66.9	67.6	65.0
	観察・実験の技能	72.4	73.8	70.4
	自然事象についての知識・理解	73.1	72.1	73.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	・正答率は67.7%で、市平均とほぼ同様である。 ・ろうそくが燃える前後の空気中の気体の体積変化から、空気中の気体の組成を解く問題や、実験結果から酸性の水溶液を見つける問題の正答率は市の平均を大きく上回っている。 ・ふりこの周期はふりこの長さとの関係を理解し、同じ周期の振ふりこを見つける問題や、電流の強さと電磁石のはたらきの関係を調べるにはどの実験を比較すればよいか答える問題の正答率は市の平均を大きく下回っている。 ・5年生で習った単元に不得意なものが見られる。	・前学年で学習した内容の復習をプリントやデジタル教科書を使って行い、定着を図るようにしていく。 ・単元の終わりには、自分でまとめをつくらせ、知識や実験の過程など、まとめることを通して定着を図るようにしていく。
生命・地球	・正答率は72.6%で、市平均とほぼ同様である。 ・血液の循環の模式図から酸素を多く含む箇所を見つける問題の正答率は市の平均を大きく上回っている。 ・太陽と月の位置関係を定め、月の見え方を調べる問題の正答率は市の平均を大きく下回っている。	・教科書だけでなく、模型や実験器具を使って実際に体験させることで知識の定着を図るようにしていく。 ・インターネットやデジタル教科書などICT教材も活用して、視覚に訴える授業を行うことで知識の定着を図るようにしていく。